

大仁中学校区 道徳だより

『みんなで育てよう 大仁の子』

平成29年3月16日

大仁小学校・大仁北小学校・大仁中学校

平成28年度が終わります。この1年間、各校での取組とその成果についてお知らせします。

【大仁小学校】 『見事に咲いた 優しさの花』

「転んでしまった時に、優しい言葉をかけてくれた」「気持ちのよいあいさつをされていてすごいと思った」など、友達の優しい心を書いたカードが、ふわふわハートの木に貼られています。この1年間で、たくさんの優しい花が咲きました。年度末に行ったアンケートでは、「お子さんは、友達のことを大切にする、思いやりをもっている」と感じている保護者が84%もいました。



1年間じっくりと取り組んできたことが、花開いてきています。

【大仁北小学校】 『広がれ、あいさつの輪』

あいさつの輪が広がるように、朝会で『気持ちの良いあいさつ』を体験したり、北っ子委員会が中心となって『あいさつ金次郎』『あいさつ門』などに取り組んだり、毎月『あいさつ名人』の表彰をしたりしてきました。年度末の自己評価では、93.1%の子どもが「気持ちの良いあいさつができた」と回答し、あいさつの輪が広がってきています。



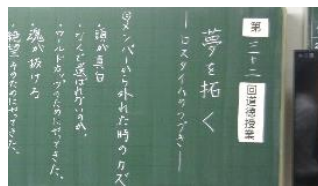
しかし、家庭や地域でのあいさつは、保護者アンケートで70%ほどにとどまり、今後の課題となっています。

【大仁中学校】 『内省と実践をつなぐ道徳授業の創造』

大仁中では、「考え議論する道徳」を目指し、子供たちが自己を見つめ物事を広い視野から多面的・多角的に考える授業を行ってきました。地域の方々をゲストティーチャーに招いたり、授業参観で保護者の方にも参加していただいたりするなど、この2年間、多くの方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

年間35回の道徳

毎日授業に掲げて積み重ねを実感しています。



春休みも『ノーメディア』『あいさつ』『おてつだい』

春休み中に第2火曜日はありませんが、家族の会話の機会をご家庭で『ノーメディアデー』を設定してみてもいかがでしょうか？

長期の休みには、家庭や地域での『あいさつ』と『おてつだい』の機会が増えます。意識して、挑戦してみましょう。